

平成25年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

① 施設名	阿倍野区民センター
② 指定管理者名	阿倍野区民センター指定管理者連合体(代表者)(一社) K I O
③ 評価対象期間	平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
④ 指定期間	平成25年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
⑤ 所管課・担当	阿倍野区企画調整課 担当 菅野・磨家(電話:06-6622-9787)

管理運営業務等の概要

① 業務概要	市民のコミュニティ活動の拠点としての阿倍野区民センターにおける貸し館業務にかかる維持管理
② 利用状況の概要	施設年間利用率 66.30% 施設利用人員 203,569人
③ 施設の設置目的・目標 (成果指標)	【設置目的】 区民センターは「コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与する」ことを目的としている。
③ 年度目標	施設の目的に沿った事業を行い、利用率を50%以上に保つとともに安定的な管理運営を行う。

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況(管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況)	管理運営状況については、職員配置状況及び危機管理体制にはマニュアルを活用するなど十分配慮して取組んでおり、概ね適正と判断できる。利用率も66.30%と目標を達成している。大型館に見られるホール等の利用競合についても公正な抽選方法を確立し安定した運用を実施している。
②事業計画の実施状況(計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況)	各種自主事業については、利用者に充実したサービスを提供するための取り組みを実施してきたが、運営母体が劇団ということもあって、専門的なテーマに偏る傾向が散見された。事業実施内容については事業報告書参照。
③施設の有効利用(他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等)	国内外の劇団との連携した事業に取り組んでいる。地域連携やNPOとの協働については、人権等のテーマ毎の事業として実施した。また、区の防災事業とも連携するなど、積極的な有効利用に取り組んでいる。

2 市費の縮減効果(収支状況)

① 収入・支出状況	事業報告ならびに収支報告書を参照
② 市費縮減に係る取組み状況	管理運営予算の内、人件費について縮減努力が認められる。

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取り組み等の実施状況	両面コピー、PDF化等資源配慮を積極的に実施。就労困難者雇用については、雇用に向けて努力したが、雇用には至っていないが、幅広い勤務シフトでのパート雇用を実施。個人情報については、申し込み窓口での対応や施錠可能収納での保管を含めて慎重な取扱いを実施している。
---	--

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

<p>① 評価項目概要</p>	<p>指定管理者としては1年目で、年度当初には館の状況把握が十分でなかった。7月に1回目のモニタリングを実施することで、問題点の抽出を行い課題整理の結果、徐々にではあるが円滑な業務を行うことができた。2月のモニタリングでは、ほぼ館管理運営についての問題点は解消できた。一方、自主事業についても積極的に取り組んできたが、劇団として専門的なテーマでの取組みも散見されたので、より多様な価値観に見合う事業実施を求めた。</p>
<p>② 上記についての成果や望まれる対応等</p>	<p>業務指導等については的確な対応が認められる。本来の設置目的のうち、コミュニティ活動の振興及び、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進するという点については、不十分な点も見受けられる。</p>

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

① 施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成25年度における利用率は、設置目的としてのコミュニティの拠点の役割を果たすための努力の結果、昨年比0.9ポイントの増加となっている。	B
② 市費の縮減効果に対する評価	人件費の縮減について、空きスペースの有効活用を劇団活動と館の管理の融合手法により効果的な人員確保が行えている。光熱水費の縮減については、不必要な電灯の消灯に努めているが利用率が増加しているため、昨年費73,897円の増加となった。	B
③ 社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	就労困難者の雇用については、採用するための努力を行ったが、雇用に至っていない。 職員研修については、ハラスメント防止・えせ同和行為対策、情報管理等について実施した。	B
④ 総合評価	人件費縮減の取組みにより、効果的な館管理を実施している。指定管理初年度のため報告書類等に若干不備も生じたが、指導により改善が図られた。自主事業については、劇団として専門的なテーマでの取組みも散見されたので、より多様な価値観に見合う事業実施を求めた結果地域団体等とも協働できる体制が整いつつある。	B

2 外部専門家等の意見

<p>人件費削減は、通常削減が困難なものであるが、劇団活動と館管理の融合手法により大幅な人件費の削減に成功した点は、大いに評価される。一方、適正な給与基準に基づいた人件費が本当に支払われていたのか疑問がないとも言えない。</p> <p>いずれにせよ、こうした人件費削減の努力に見られるように、劇団による館管理ということで新しい価値観・手法に期待されるところであったが、1年で管理者が交代してしまった点は課題を残したとは言えないか。実質的な効果を検証するには、最低2年以上その効果を観察する必要があると思われる。</p>

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成25年度における利用率は、広報等積極的な取り組みの結果0.9%増加しました。アンケート等を活用することで、より利用しやすい施設としての運用を行っています。 また、指定管理者としては1年目であり7月のモニタリング時に若干不備な点も見受けられたが、2月時点のモニタリングでは、ほぼ改善されました。	B
⑤ 市費の縮減効果に対する評価	人件費について効果的な職員ローテーションを導入し新たな取り組みのもと、昨年度比△5,573,815円と縮減されていることは大いに評価されます。	A
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	就労困難者の雇用については努力を行ったが未達成です。 職員研修については、ハラスメント防止、えせ同和対策、情報管理、同和対策の内容で3回実施しています。	B
⑥ 総合評価	25年度は、阿倍野区民センター指定管理者連合体として初めて指定管理業務を請負うことになり、十分引継ぎを行ったものの、当初は館の運営事務、施設管理に戸惑いも見受けられました。 日常の問題点については、その都度とモニタリングの際に指摘した事項について、的確に改善を図っています。	B

	<p>自主事業について積極的に取り組んでいただきましたが、指定管理者の母体が劇団であり、専門的な内容が散見され一般利用者のアンケートでは、若干理解しにくいといった意見もいただいています。</p>	
--	---	--

- 評価の基準
- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
 - A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
 - B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
 - C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※ 施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成25年4月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること